

富士電機

緒言

光輝ある戦捷の新春を迎ふるに當り過去一年間の製品に就いて回顧する時、大東亞共榮圈確立の國是を體し、生産擴充に資する機械製作の分野に於る使命に對し、一層の技術的研鑽と生産能率の向上を計り、製作資財の獲得の困難及勞力の不足に打勝つて、質的にも量的にも多大の成果を擧げ得たる事は誠に感激に耐えぬ次第である。

電動機關係は一昨年度に引續いて製鐵工業、化學工業、鑛山機械工作及航空工業用設備の需要が旺盛であつた。大、中、小容量の誘導電動機、同期電動機及び直流電動機の多數の納入及び受注があつたが、其の中で特記すべきは當社獨特の靜止レオナードの發達である。即ち記録容量 5,400 HP の水銀整流器と直流電動機を組合せた靜止レオナード設備が完成せられ、尙製作中の 5,600 HP がある。次に當社の銅材節約に對する努力を端的に具現せる一例として、十數年前より 50 HP 程度迄を製作して居たアルミケージを使用せる籠型電動機の製作容量を 200 HP 迄擴張した事が擧げられる。

水車關係としては 8,750 HP 複輪四嘴管 ベルトン 水車、5,740 HP 堅型フランシス水車及 6,500 HP、堅型フランシス水車を完成し、目下 14,500 HP 堅型フランシス水車其の他を製作中である。昨年度に於ける純國產調速機アクチュエーターの完成に依つて富士電機水車は完全なる純國產品と成り、獨乙フオイト社の技術を基礎にした當社獨特の技術的發達が屬望せられるに至つた。

交流發電機としては上記水車に直結せられる 7,500 kVA、横軸、5,250 kVA 堅軸及 5,000 kVA、堅軸水車發電機及多數のディーゼル發電機が完成し、製作中のものには 12,000 kVA、堅軸水車發電機其の他がある。

化學用水銀整流器の需要は引續き旺盛であり、6,000 A、〇〇臺を完成したのを始めとして〇〇臺を製作中である。

電鐵用水銀整流器としては 2,000k、W1,500V、〇〇臺を納入し引續き 2,000kW、750V、〇臺を製作中であり、2,000kW、3,000V、電力回生用逆流水銀整流器〇臺の完成も目睫に迫つて居る。

電力用變壓器としては 30,000kVA、〇臺を初め 10,000kVA、以上〇〇臺の納入を終り引續き記録製品たる 240kV、30,000 kVA、用其の他製作中である。

電氣爐用變壓器としては 12,000 kVA、〇臺を完成納入し、28,000 kVA、〇臺を製作中である。

尙 500 kV、4,500 kVA、試験用變壓器を完成した。3,000 kV、衝擊電壓發生裝置の完成も近い。

膨脹遮斷器の需要は決定的であり、230 kV、の超高壓送電の開始に依り其の性能は十分なる認識を得た。更に 287 kV、送電を目指して試作研究を進めて居る。161 kV、115 kV、は言ふ迄も無く 80.5 kV、及 69 kV、電壓用としても、節油型の膨脹遮斷器が歡迎せられる様になつた事は、數年の實績に依り其の優秀なる性能が實證せられた今日、資材節約上よりも當然の事であるが、其の比較的高價なるに拘らず、保守上の便利と安全のために 23 kV、乃至 3.3k V、の屋内用膨脹遮斷器が要求せられる様になつた事と共に注目に値する。

靜電蓄電器も電力用としては最高 1,000 kVA、以下多數完成納入し既成設備の送電容量の増大に貢獻した。其の他超高壓送電線の搬送式通信並に保護用としての結合蓄電器〇臺、高周波電氣爐用及低速度誘導電動機用蓄電器の多數が製作された。

配電盤として特筆すべきものは鴨綠江水電納入水豐發電所用及び滿洲電業納入鞍山變電所用の兩者が擧げられる。何れも最新最鋭の 照光盤制御方式、保護裝置を採用せる 當社獨特のものである。

計測器關係に於ては、一般電氣計測器及び工業計器に、飛躍的に生産を高め、各種工業方面の生産力擴充に伴ふ施設に對する要求に沿ふ事が出來た。特に、高壓合成化學工業、製鋼工業、電力事業方面の需要が著しかつた事は注目に値する。一般電氣計器は各種基礎研究の現象調査に、其の精密優秀さを遺憾なく示し、富士弱電流計器の聲價を高め、一方、熱經濟計器は臨戰體制下の情勢に順應する資源節約、作業合理化の要求と共に、益々其の需要を増加する傾向にある。數百度、數百氣壓下に使用する流量計、溫度計に成功、2000 耗の大口徑 オリフイス板、 -40°C 屋外流量計、六色記録計、風壓自動調節器、電橋繼電器、落下柵式調節器、携帯用檢相器等を新製した。尙又、衝流周波數遠隔測定裝置は鐵道省納入音聲周波搬送方式に依るものを始めとし日鐵八幡、日本發送電、熊本電氣等各社に納入好成績を擧げてゐる。更に、熱管理中央計器裝置は、昭和製鋼所、高爐發炭爐用他數裝置、を完成し、更に同所の全蒸汽管理中央裝置、中山製鋼所の餘剩瓦斯管理中央裝置等の大規模の物を製作中である。



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。